

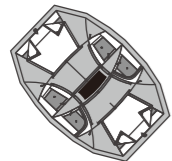
# 撤収手順

**STEP 1** ルーフフライ、吊り下げていたインナーテントを取り外します。フライシートを固定したペグ、ロープ、ポールをすべて外し、下図のようにしてたたみます。

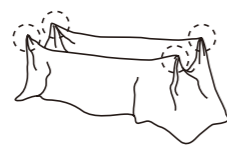


**注意**

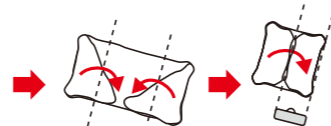
テントを濡れたままで収納しますと防水効果が著しく損なわれる為、ご使用後はフライシート・インナーテントの汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。



たてに半分に折り重ねる。

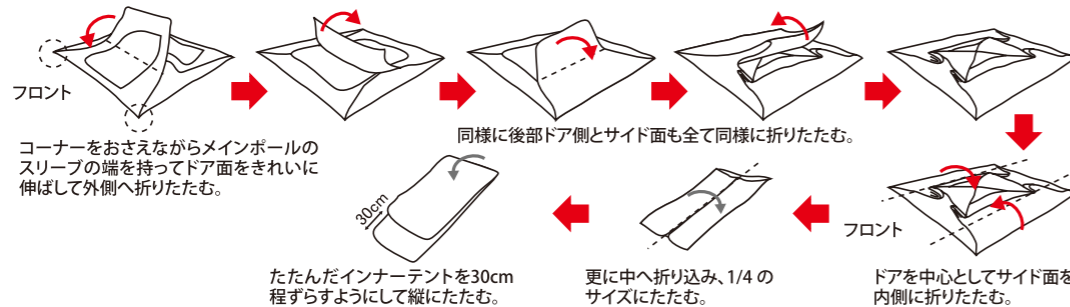


両端を中へ折り込んで長方形にする。



長方形を更に中へ折り込み、収納ケースの幅と同じサイズにたたむ。

**STEP 2** 取り外したインナーテントを広げ、空気を逃がすために前後のドアの下部をあらかじめ開けておいてから、四隅をきれいに広げ四角形になった状態で、下図のようにしてたたみます。



フロント  
コーナーをおさえながらメインポールのスリーブの端を持ってドア面をきれいに伸ばして外側へ折りたたむ。

同様に後部ドア側とサイド面も全て同様に折りたたむ。

たたんだインナーテントを30cm程ずらすようにして縦にたたむ。

更に中へ折り込み、1/4のサイズにたたむ。

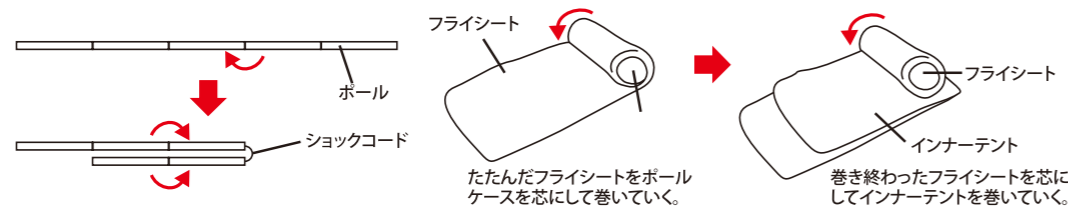
フロント  
ドアを中心としてサイド面を内側に折りたたむ。



**注意**

使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納しますと、色移りやカビ発生の原因となります。

**STEP 3** ポールを全ておりたたみポールケースに収納します。フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



**注意** ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一にテンションがかかり、ショックコードの寿命をのばす事ができます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。

# WEATHERMASTER® WIDE 2ROOM COACH

[ ウェザーマスター® ワイド2ルーム コーチ ]

## 取扱い・組立て説明書



コールマン ジャパン株式会社

お問い合わせ先

コールマンカスタマーサービス：0120-111-957

受付時間：月曜日～金曜日（祝祭日を除く）10:00～17:30

この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際には水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

# 組立・使用上の注意及び禁止事項

**危険** この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテント、タープの使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でテント、タープを設営しないでください。

**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は2人以上で行ってください。無理な設営はポールや本体破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について  
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント内の換気を行うことで改善することができます。

# 収納・管理の注意

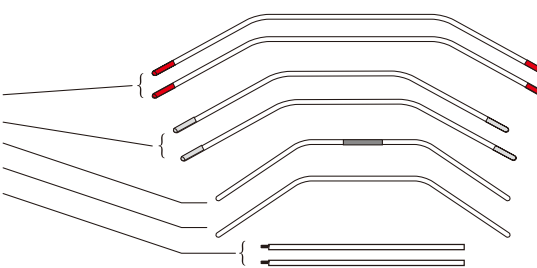
**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態ですと、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置しますと色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

# 各部の名称・セット内容

**セット内容** お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

●フライシート	1張
●インナーテント	1張
●ルーフフライ	1枚
●メインポール (シルバー/レッド)	2本
●センターポール (シルバー/ゴールド)	2本
●リアポール (シルバー/ブルー)	1本
●フロントポール (シルバー)	1本
●キャンピポール (スチール/グレー)	2本
●ロープ (グリーン)	15本
●スチールペグ	32本
●ハンマー	1ヶ



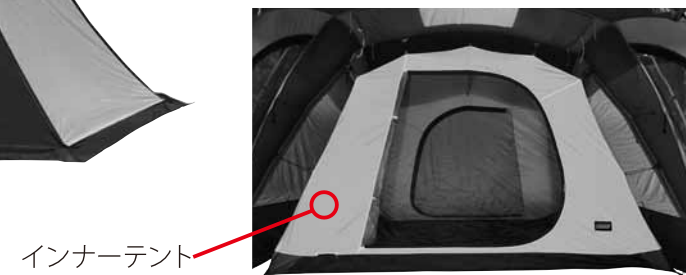
## 完成図



## [フルクローズの状態]



## [インナーテント]

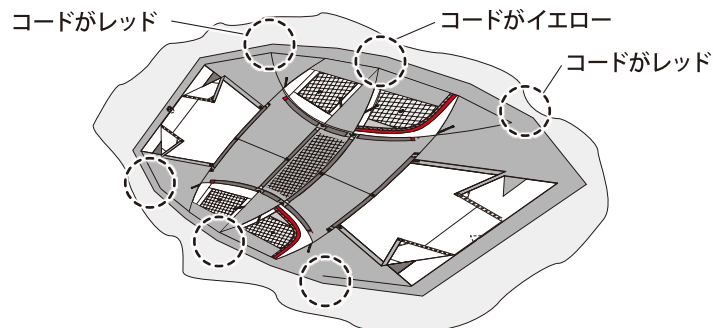


**※設営時のポイント**  
本製品は、各ポール、スリーブ、ルーフの一部に塗装を施しており、ポールをスリーブに通す際やルーフのエンドクリップにセットする際は、それぞれ同じ色のパーツにセットすることで、簡単に設営できます。

# 設 営 手 順

## I フライシートを広げる

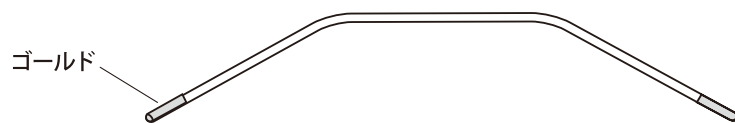
**STEP 1** フライシートを広げます。ドア面に赤い縁取りがある方が前になります。スタンディングテープのバックルをすべてとめておいてください。



**STEP 2** クリップのコードがイエローとレッドのループをペグで仮固定します。

## II センターポールをセットする

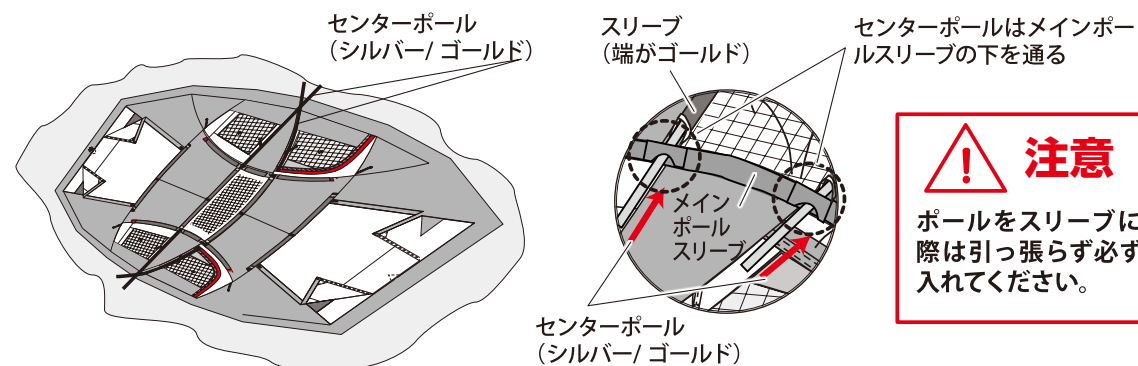
**STEP 3** センターポール (シルバー/ゴールド) を伸ばします。



**注意**

ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

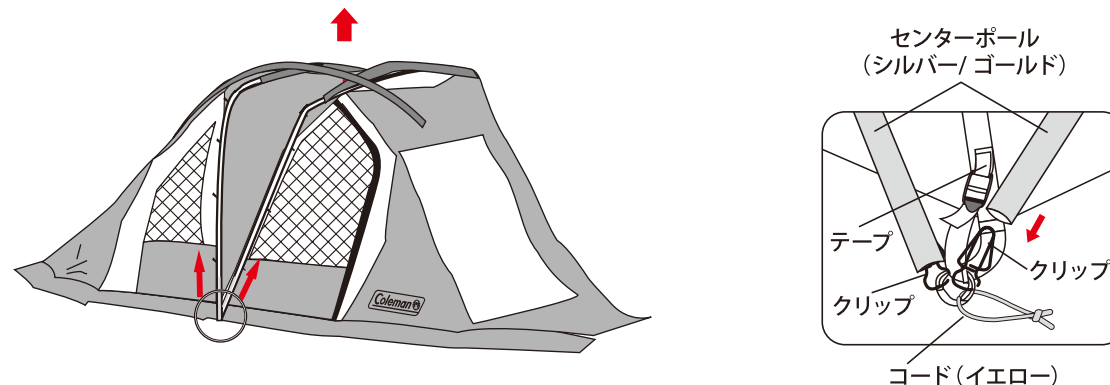
**STEP 4** センターポール (シルバー/ゴールド) をスリーブ (端がゴールド) に通します。センターポールはメインポールスリーブの下を通ります。



**注意**

ポールをスリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

**STEP 5** センターポール (シルバー/ゴールド) 2本を立ち上げ、フライシートの中央のクリップ (コードがイエロー) に差し込みます。クリップに差し込み立ち上げる前に、両側のテープを伸ばしポールにかかるテンションをゆるめます。立ち上げる際はスリーブをつかみ、ポールを押しながら立ち上げてください。



**注意**

片側ずつ2人同時に立ち上げてください。無理に立ち上げようとするとポール破損の原因となります。

**STEP 6** フライシートについているフック (テープがグレー) をポールにかけ固定します。



**注意**

フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。



### III

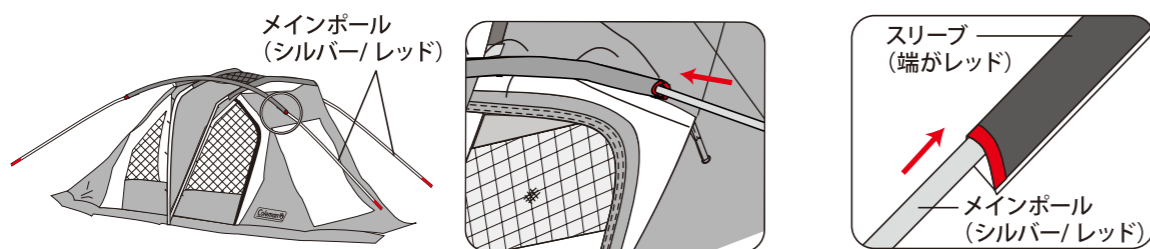
## メインポールを立ち上げる

**STEP 7** メインポール (シルバー/レッド) を伸ばします。



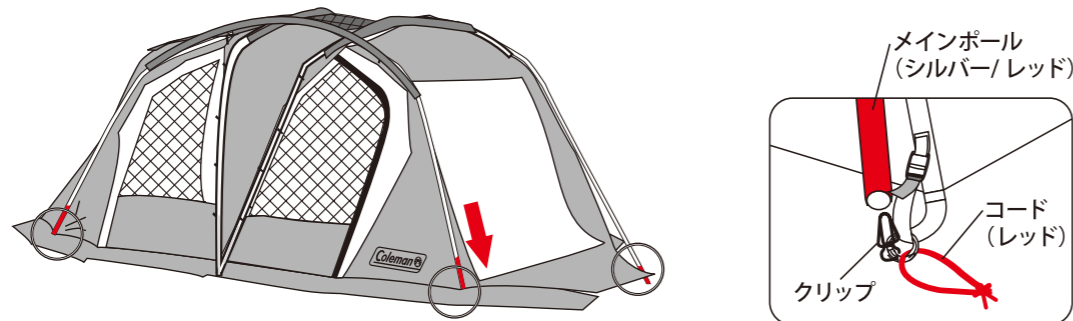
**注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

**STEP 8** メインポール (シルバー/レッド) をスリーブ (端がレッド) に通します。一人がセンターポールを支え、もう一人がポールをスリーブに通すとスムーズに行えます。



**注意** ポールをスリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

**STEP 9** メインポール (シルバー/レッド) 2本立ち上げ、フライシートのコーナーのクリップ (コードがレッド) に差し込みます。片側ずつ差し込んでください。一人がセンターポールを支えるとスムーズに行えます。



**注意** 片側ずつ2人同時に立ち上げてください。無理に立ち上げようとするとうポール破損の原因となります。

**注意** ポールをクリップに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

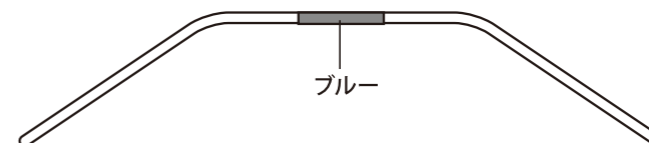
**STEP 10** フライシートについているフック (テープが赤) をポールにかけ固定します。



**注意** ポールをクリップに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

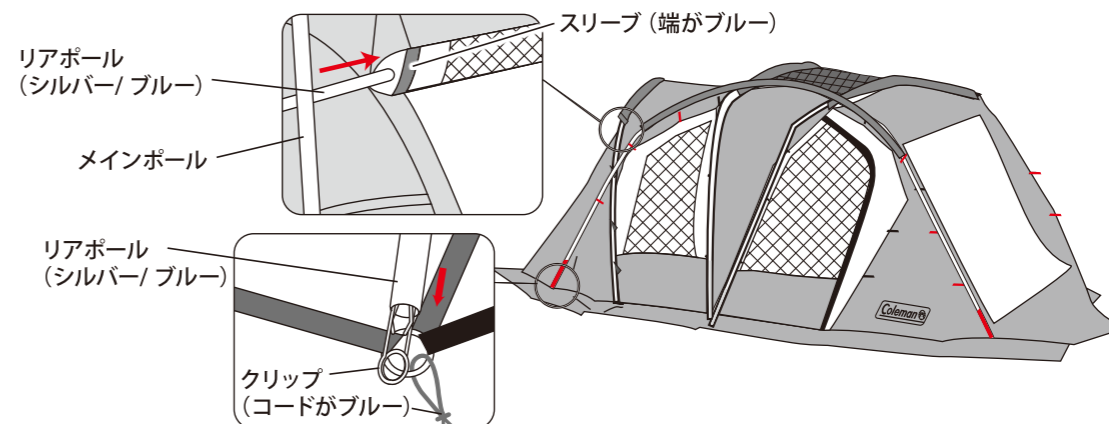
## IV リアポールをセットする

**STEP 11** リアポール (シルバー/ブルー) を伸ばします。



**注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

**STEP 12** リアポール (シルバー/ブルー) をスリーブ (端がブルー) に通し、コーナーのクリップ (コードがブルー) に差し込みます。リアポールはメインポールの下を通します。



**注意** ポールをスリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

# STEP 13

フライシートについているフックをリアポールにかけ固定します。メインポールとリアポールの交差部を面ファスナーで固定します。



**注意** フックをポールにかけるとき、指をはさまないように注意してください。

## V フロントポールを立ち上げる

# STEP 14

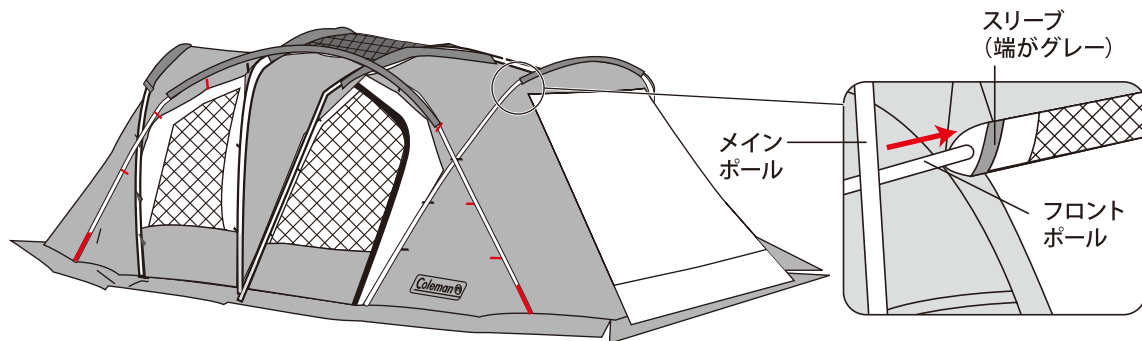
フロントポール（シルバー）を伸ばします。



**注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

# STEP 15

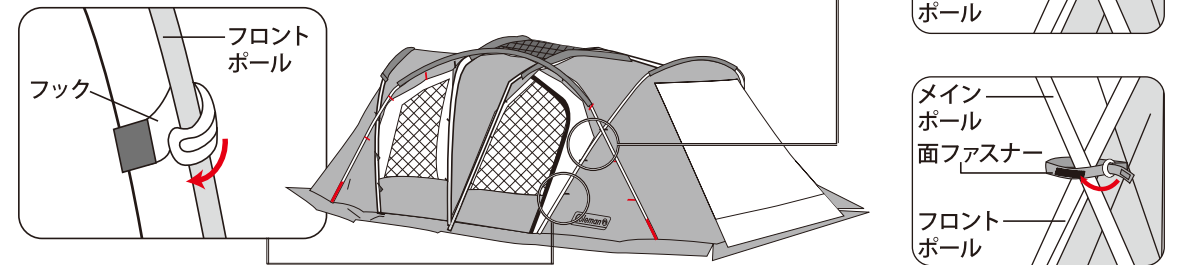
フロントポール（シルバー）をスリーブ（端がグレー）に通し、コーナーのクリップ（コードがグレー）に差し込みます。フロントポールはメインポールの下を通します。



**注意** ポールをスリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

# STEP 16

フライシートについているフックをフロントポールにかけ固定します。メインポールとフロントポールの交差部を面ファスナーで固定します。



**注意** フックをポールにかけるとき、指をはさまないように注意してください。

## VI 設営位置を決め固定する

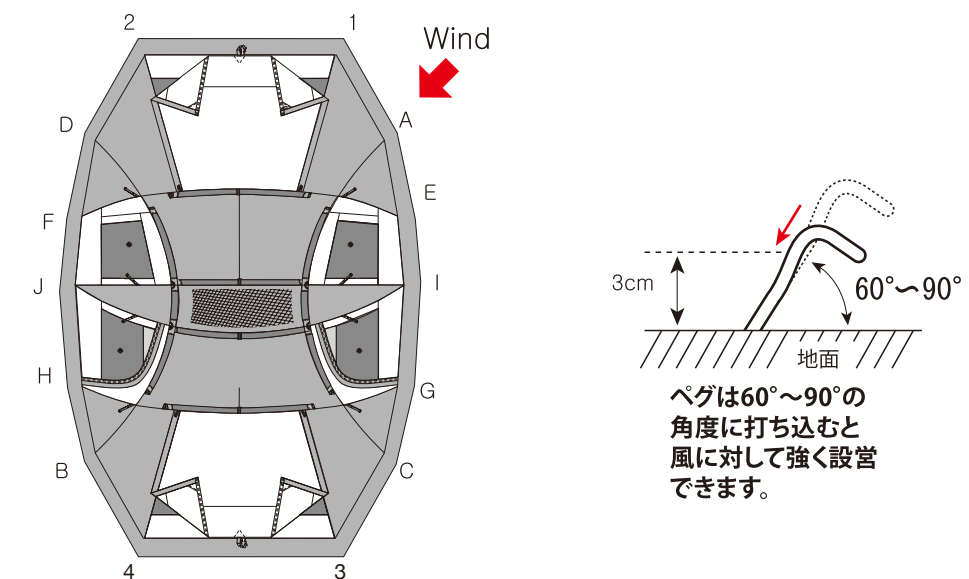
# STEP 17

前後のキャンピィー、サイドドアのファスナーを全て閉めます。

**注意** ペグで固定する前に、必ずファスナーを閉じておいてください。ファスナーを開けたまま固定すると閉じられなくなる場合があります。

# STEP 18

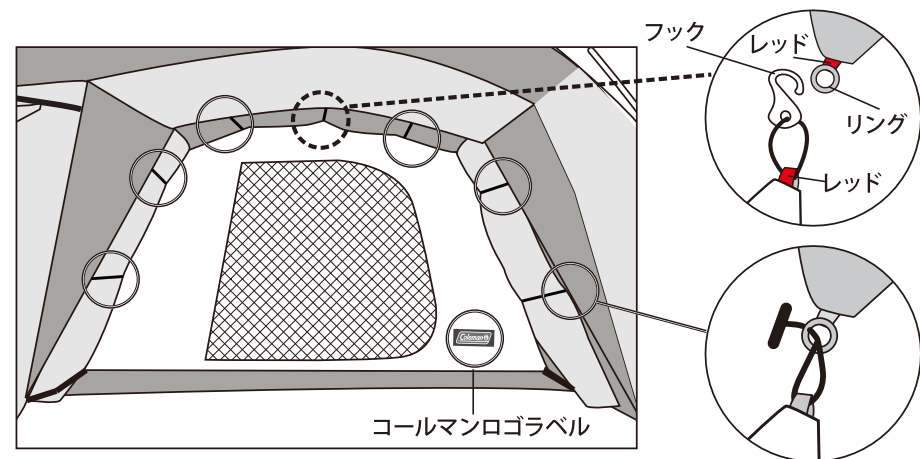
設営位置を決め、図のように10ヶ所のループを風上より順に（A～J）対角線にペグを打ち込み、テントを固定します。前後のループを張り出し、ペグで4ヶ所（1～4）を固定します。



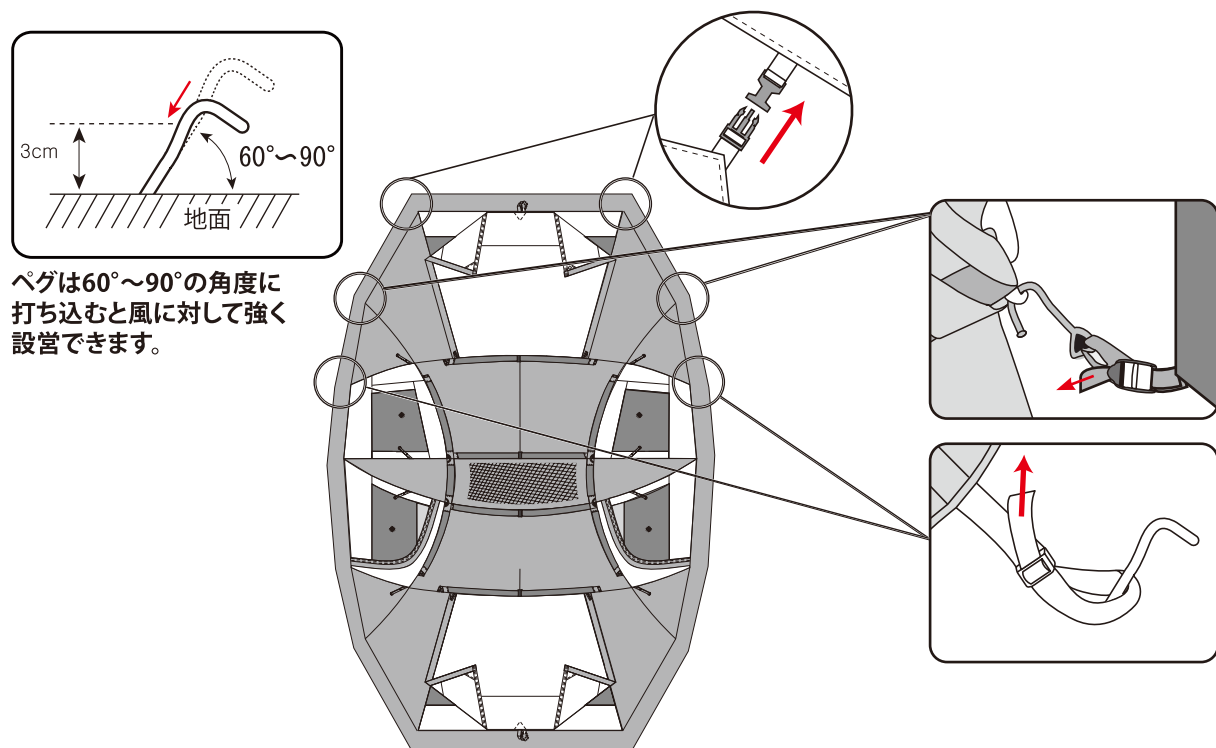
ペグは60°～90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

## VII インナーテントをセットする

**STEP 19** インナーテントを吊り下げます。  
 フライシート内側にあるリングにインナーテントのトグルをかけます。インナーテントの上部からかけていきます。インナーテント上部中央の赤いテープのフックをタープ側の赤いテープのリングにかけて位置合わせをします。



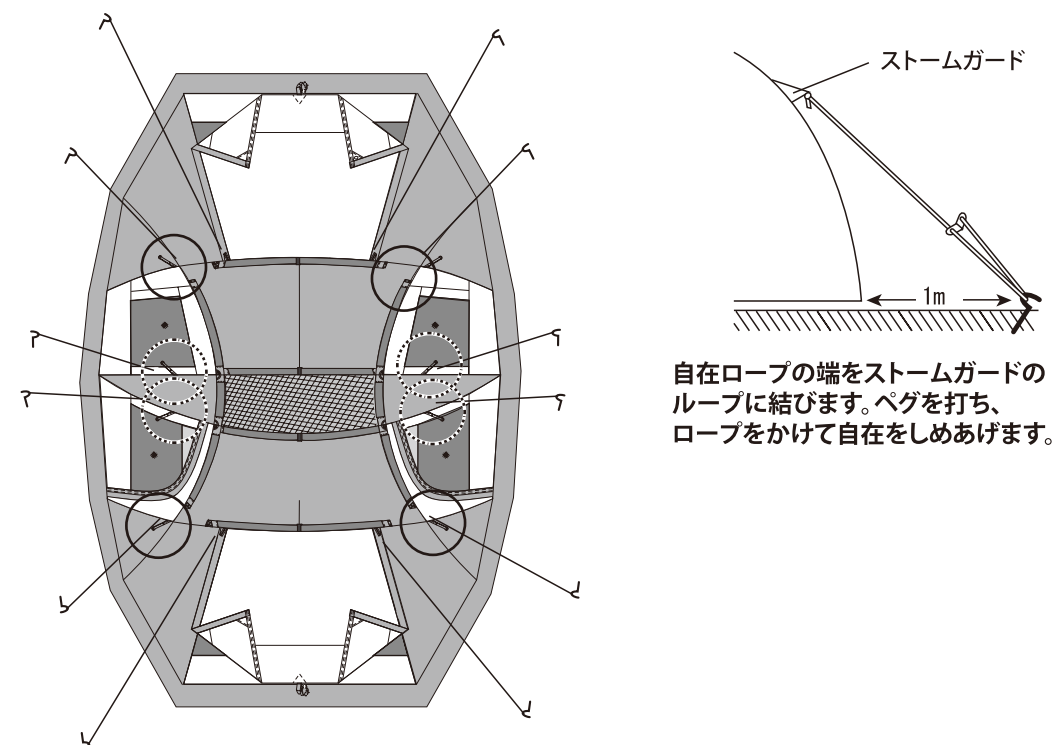
**STEP 20** インナーテントフロアのコーナー6ヶ所を固定します。後ろ側の2ヶ所はフライシートについているバックルに止めて固定します。サイドの2ヶ所はリングにフックをかけて固定します。フロントのコーナーは、ループをペグで固定します。



ペグは60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

## VIII ロープを張り固定する

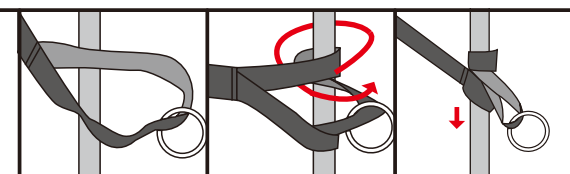
**STEP 21** ストームガードシステム (ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法) により、テントの安定性を高め、フライシートとインナーテントの接触を防ぎます。両側面にあるセンターループ及びストームガードに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。



自在ロープの端をストームガードのループに結びます。ペグを打ち、ロープをかけて自在をしめあげます。

上・左図の要領にて12ヶ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグを打ち込み固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。

**ストームガード**  
 本製品はストラップ状のストームガードをポールに巻きつけて固定することにより、安定性をさらに高めています。



**注意** 大きなサイズのテントは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。



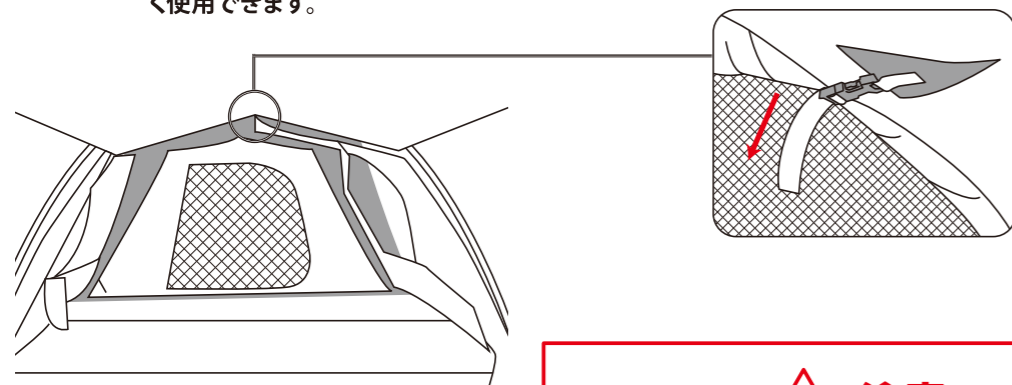
## IX キャンピアーを活用する

**STEP 22** キャンピアーとして活用する場合は、付属のキャンピアー用ポールを使用します。



### ハイビューシステム

フロントキャンピアーの中央部のバックルをしめることにより、中央部のたるみを取りキャンピアーを高く使用できます。



### ⚠ 注意

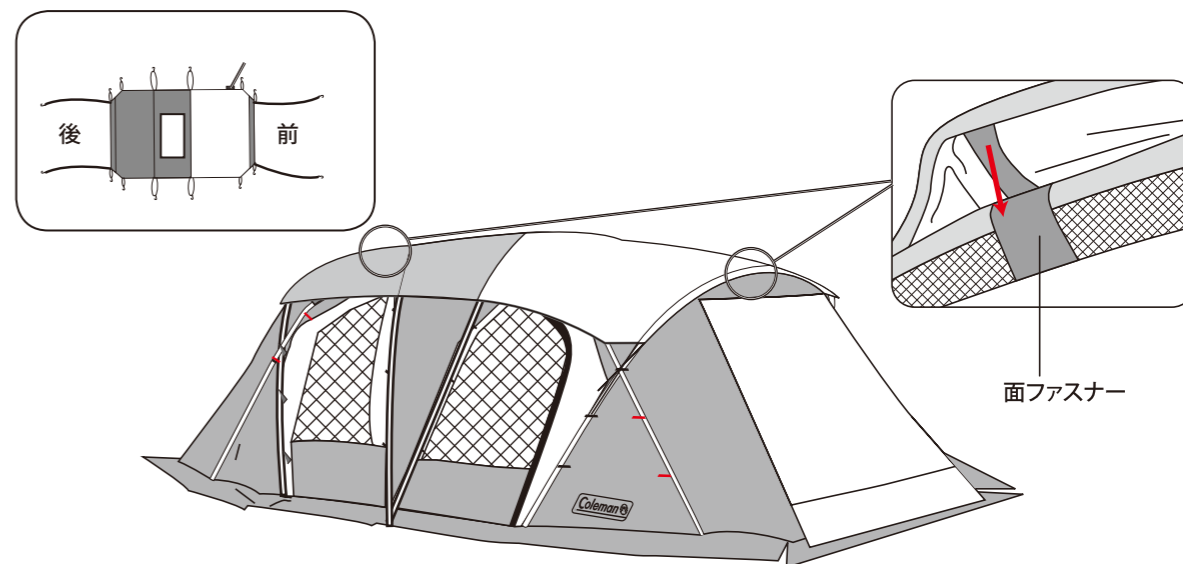
雨天時にキャンピアーを活用する際は、水がたまりやすくなりますので、傾斜を作るか、中央部にロープを結びペグ止めて雨水を流してください。

雨天時にキャンピアーを使用する場合は、ハイビューシステムのバックルを外してください。

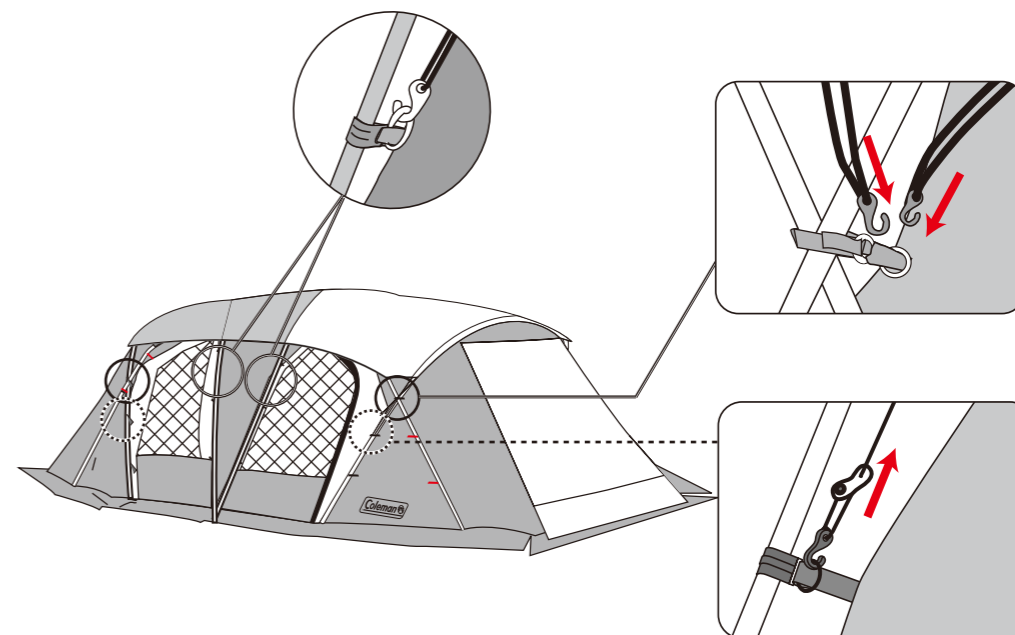
風の強い時は、必ずキャンピアーを閉じてください。ポールが折れる可能性があります。

## X ルーフフライをかぶせる場合

**STEP 23** ルーフフライをかぶせ、面ファスナーで固定します。前方のフロントポール、後方のリアポールの中央部分の面ファスナーで固定します。



ルーフフライの前後のコードに付いているフックをリングにかけて固定します。自在金具を締め込みしっかりと固定します。ルーフフライ12ヶ所のゴムひもに付いているフックをリングにかけて固定します。残りの面ファスナーをポールに巻きつけて固定します。

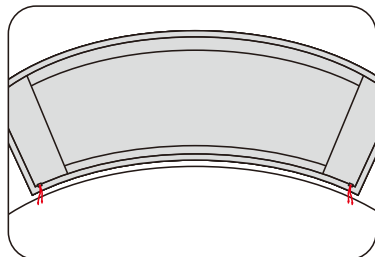


## ルーフフライベンチレーションの使い方

### スカイベンチレーション

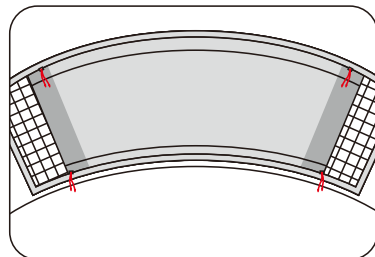
天井中央部のファスナーの開閉で、ベンチレーションと採光の調整ができます。

日よけ+寒冷時など



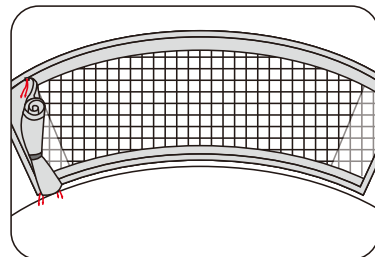
フルクローズ

換気+日よけ

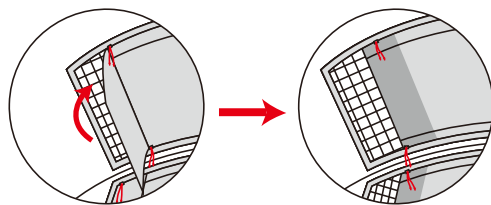


ハーフオープン

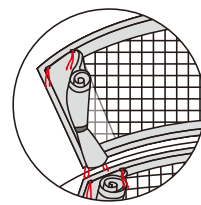
換気+明かり取り



フルオープン



余分なフラップを内側に折り込みます。



ファスナーはどちらからでも開閉できます。